

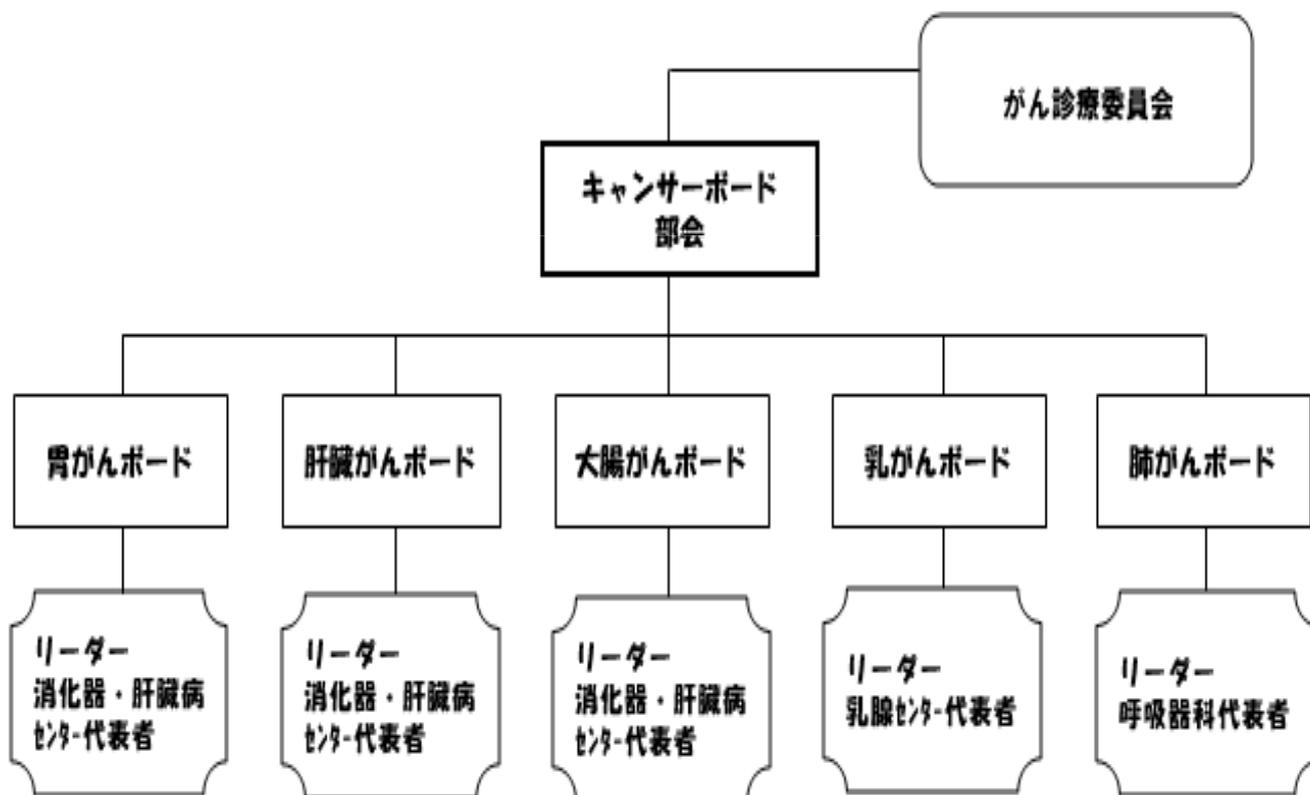
2. 「がんサージボード」とは

がんサージボードとは、専門的な知識・技能を有して手術や放射線療法、化学療法などの集学的治療に携わる医師と、他の分野を専門とする医師等が一堂に会し、様々ながんに対して、がん患者さんの症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認するためのカンファレンスをいいます。当院では医師以外にも薬剤師や診療放射線技師、臨床検査技師、診療情報管理士が集まり、あらゆる側面からがん治療と向き合っています。がんサージボードは毎月第二木曜日に定期開催しています。

- 1) 市立奈良病院におけるがんサージボードの意義
 - A) 治療方針の決定・再確認、横断的な検討
 - B) 多職種によるチーム医療の実践
 - C) 診療科を超えたがん治療の学習

【がんサージボード体制図】

平成20年8月現在、運用しているのは5大がんボードですが、随時他のがんについてもボードを追加していきます。



2) がんサージボード構成員

医師	全診療科医師（臨床研修医を含む）
看護部	各病棟リンクナース（各病棟師長に選出依頼）
部門	薬剤室、放射線室（放射線治療部門）
	検査室、診療情報管理室（がん登録部門）

3) その他

がんサージボードは必要時、緩和ケアチーム等と連携できる体制をとっており、患者様の状態やご希望を考慮して、最適な医療を提供できるように検討を重ねています。